移動運用の HB9CV 紹介

DE JA1WOB 斎藤

奥多摩や奥武蔵への移動運用は既にTWO-FORTY 誌で紹介しました。 今回はその移動運用で使用している 2 エレの HB9CV を紹介します。

このHB9CVは12年ほど前のCQ誌に掲載されていました、記事を参考に持ち合わせの材料を使用して製作したものです。

ブーム部分は塩ビのVP-13 パイプは DIY店で手軽に入手出来る材料です、製作当初のエレメントはマスプロの4 エレの廃材を利用し、ショートバーのエレメント部分は DIY店で入手出来る 10mm のアルミパイプを使用し、接合部は目玉クリップを半田付けして製作しました。

移動運用の度に色々な不具合点があり、何箇所か改造を加えて3年位前から現在のスタイルになりエレメンントの全て10mmアルミパイプを使用しています。 製作のポイントは移動運用で使用するために、以下の事を考慮しました。

- ① 組立てが簡単でること
- ② 短時間(5分以内)で出来ること
- ③ 軽量で収納時にコンパクトでること
- ④ 1m の釣竿ケースに収納できること
- ⑤ 特別な材料を使用しないでDIY店等で入手可能なこと

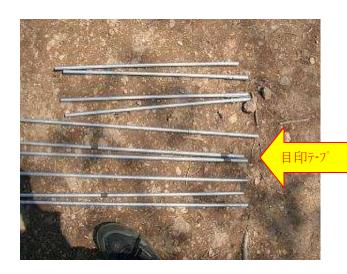
4月30日に青梅市の岩茸石山(793m)に移動した際の HB9CV 組み立てと設営の様子です。

1. 山頂に到着



この釣竿収納用ケースに、エ レメントブーム、ポール、同 軸ケーブル、ロープ、ペグ、 ゴム鎚、ペンチなどが入って います。

2、エレメントを釣竿ケースから出す



組立て前のHB9CVエレメント。 エレメントに張ったビニール テープは、ブームへの取り付け 目印やショートバー位置の目印 です

3、エレメントの接合

エレメントの切り込み部分に 挿入する様子です 下が挿入まえ、上が挿入途中で す。



エレメントの接続部分 エレメントの一部に切り込みを 入れて、エレメント挿入して接続。 片側はタッピングネジで取り付け て ある



3、ブームを伸縮ポールに取付け



ブームにエレメントを取り付ける前の状態、エレメントクランプ とアルミパイプの一部に切り込みを付けた物にショートバーを 取付ける

4、エレメントとショートバーの取り付け

エレメントをブームに取り付けた 状態、ビニールテープは取り付け 方向の目印、エレメントクランプ にはマジックインクで目印ショー トバーは切込みアルミパイプに差 し込む



5、ショートバーの接続



ショトバーの接続は、目玉クリップ

を加工して、半田付けしたもの ビーニールテープは目玉クリッ プを取り付ける位置の目印で、これで VSWR は 1.5 以内です。

6、HB9V 設営完了



伸縮ポールに取り付けて完成 した状態です。

430MHZのモービルホイップもおまけで取り付けました。

この様に設営するまで 5 分以内で組立可能です。

この日は50MHZの2.5W運用で新潟県小千谷市や福島県いわき市など15局とのQSOが出来ました。

また、430MHZで23局とのQSOが出来ました。

おわり